

[1] 新会長挨拶

木村 亮

只今、榮譽ある京都大学土木会の新しい会長に推挙されました木村亮でございます。

清野先生が昭和57年卒、昭和59年修士修了と言われましたが、私は大学院に3年間在籍しまして、実は修了したのは昭和60年でございます。57年卒、60年修了といたしますと、院浪したように言われるのでいちいち説明するのに時間がかかり面倒くさいのですが、一応本日は会報に掲載されるので説明させていただきます。



私は2つのことをやらせていただきたいと思うのですが、その1つは卒業生の方々と在校生の方々、それと教員の皆様

方の3者のネットワークを強化するというところでございます。当然、卒業生のネットワーク、在校生のネットワーク、教員のネットワークは強化いたしますが、その3者のネットワークを強化したい。それと、やはり皆様、会費を継続的に払っていただいているので、その会費に見合うお金の使い方を新たに考えさせていただきたいと考えております。清野先生はオンライン講習の実施とか、名簿の会社名で逆に検索できる機能を備えると言われました。この逆引きは就職のときに役に立ちます。学生さんにこの会社にはこういう人がいますよと紹介することができるのですが、現在は検索しにくい状態になっております。清野先生は検討するといどこかの国の首相みたいなことを言っていますが、私の場合は即決で実施させていただきたいと思っておりますので、期待していただければ結構かと思っております。

2つ目は最近、デジタルトランスフォーメーションDXとあってITとかAIとかIoTで社会を変えるみたいなことを言っていますが、実際私はデジタルよりトランスフォーメーションの方が重要と思っています。これは変容とか変革という意味なので、この京土会も私が会長になることによって、あの時変容したとか、変革したとかというような事業が皆様方のために出来れば非常に素晴らしいことだと、そのために頑張っていきたいなと思っております。よろしくお願いたします。

以上で私の所信表明演説とさせていただきます。